

マンション あらかると

Vol.6

コミュニティの絆は
こうして深めよう

東日本大震災や熊本地震の発生により、地域の絆が見直されようとしています。災害に立ち向かうためには、「地域住民の助け合いが必要だ」と、誰の目にも明らかになったからです。もちろん、マンションも例外ではありません。居住者同士の間関係を深めることは、管理組合にとっても重要な課題です。まずは、趣味等を通じて、居住者同士が交流できる場を設けてみましょう。

例えば、マンション内の集会所や近所の公民館を利用して、将棋やダンスの同好会を開いたり、ベットの飼っている人同士が集まる「ペットクラブ」を結成したりします。また、総会や消防訓練後にバーベキュー大会、夏祭り等のイベントを開催するのも一つの方法です。

なかには、居住者が持ち回りで講師となり、人よりちょっと得意なことをカルチャースクールのように教えあったり、子育て世帯を中心に日頃お世話になっている管理員さん等の似顔絵を描き、感謝を伝えるイベントや、定期的に演奏会や散策する会を運営して好評を得ているマンションも存在します。特に女性が率先すると上手くいくケースが多いようです。ただし、主催者に過大な負担がかかる試みはNG！無理のない範囲で楽しむことが、取り組みを長続きさせるコツです。

マンションには老若男女、様々なライフスタイルを送る人が住んでいます。もし、互いに顔を合わせる機会が少ないのなら、それを補う方法を工夫しましょう。

例えば、自由に意見を書き込める「ノート」や「意見箱」をエントランスに設置したり、居住者だけが閲覧・書き込みできるネット掲示板を開設する等が代表的な手段です。また、部屋番号の近い人同士が「回覧板」を回す等のアナクロナ取り組みを管理組合が主導となり、行つのも有効といえます。



※著者プロフィール※ 日下部 理絵(くさかべ りえ) マンション管理士

第1回マンション管理士・管理業務主任者試験に合格後、マンション管理会社での勤務を経て、マンションの総合コンサルタント事務所「オフィス・日下部」を設立。女性ならではの視点で、管理組合の相談・顧問業務、書籍などの執筆、行政・民間が主催する様々なセミナーに登壇。さらに、テレビ出演・ラジオのパーソナリティなど幅広く活躍中！著書に『マンション理事になったらまず読む本(実業之日本社)』『まるわかりスマートマンション(住宅新報社)』『マンション管理組合・管理会社 これからのマンション管理ガイド(ばる出版)』などがある。



ナチュラルに暮らす ジメジメ対策の除湿剤でカビ予防

ただでさえ気分も憂鬱になりがちな梅雨の時期、下駄箱やクローゼットなど、通気性の悪い場所を開けたら知らない間にカビを発見！それだけならまだしも、自分の持ち物にもカビが…！そんなことになってしまったら、ジメジメした空気の中、憂鬱度がさらに増してしまいうそう。嫌々カビは、殺真菌(カビ)作用のある精油を使つて爽やかに予防をしておきましょう。

今回は、気になるスポットに置いておくものになるので、お気に入りのビンや、かわいい空き瓶を利用して作りながら、見た目にもこだわることがポイントです。カ

ラフルな輪ゴムや、チャームのついたヘアゴムを使用したり、リボンなどと組み合わせてもかわいいですね。また、重曹は湿気を吸い取ってくれる役目を担ってくれますが、ドライフラワーの花びらを少し加えてもおしゃれに仕上がると思います。そして精油は、必ず殺真菌作用のあるものを使用すること。見えないカビのもとに、見えないアロマが有効に働いてくれるのです。

インテリアにあった雰囲気で作れば、目につく所に飾っても楽しい気分になるでしょう。もちろんカビ予防の効果だけでなく、素晴らしい香りにも期待できます！

アロマ除湿剤のレシピ

～材料～

- ・空きビン(手のひらに乗るサイズを目安に)
- ・重曹
- ・ガーゼなどの通気性のいい布
- ・ゴム(輪ゴムやヘアゴム)
- ・精油 5～6滴

～作り方～

- ①空きビンの1/3あたりまで重曹を入れる
 - ②精油を入れて、布とゴムでフタをする。
- ※場所によって置く個数を調節しましょう。



おすすめの精油

- ・ラベンダー
- ・ティートウリー
- ・シダーウッド
- ・レモングラス など

calligaris



カリガリスジャパン有限会社 〒658-0032 兵庫県神戸市東灘区向洋町中6丁目9 TEL:078-854-6120 FAX:078-856-4401